区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床生理検査学実習 ②	単位数	1
対象学年	2学年	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	講義 ・(実習)
担当教員名	城 宏史	実務経験	(有)・無	実務経験内容	呼吸機能検査を25年の実務

授業の目的・目標
呼吸は、循環と共に生命の維持に不可欠な機能です。基礎的知識と同様に酸・塩基に関する知識も含め、種々の呼吸器疾患について見識を深めてほしい。

成績評価の方法
①毎回授業前に小テスト
②定期試験　　③授業態度

授業の概要・授業方針
教科書に沿って基礎的理解と医療現場での実際と医療機器等を示しながら、実習も含めた授業に生かしてゆく。
過去の国試問題も踏まえた講義内容にする。

テキスト・参考資料等
臨床生理検査学教本/医歯薬出版/臨床
肺機能テキスト、血液ガステキスト
呼吸機能検査技術教本（JAMT技術教本）

授業計画	講師
1回　呼吸器の肺の構造と機能について	城　宏史
2回　呼吸調整と基本的事項　使用する記号と必要な化学の知識	城　宏史
3回　換気機能検査と肺気量分画	城　宏史
3回　スパイロメトリーとフローボリュウム曲線	城　宏史
4回　スパイロメトリーとフローボリュウム曲線の評価	城　宏史
5回　機能的残気量	城　宏史
6回　肺コンプライアンスと気道抵抗・呼吸抵抗	城　宏史
7回　気道可逆性試験と気道過敏試験　呼吸筋試験	城　宏史
8回　肺胞機能検査　換気不均等分布の検査法	城　宏史
9回　一酸化炭素の肺拡散能力試験（DLco）	城　宏史
10回　シャント測定と換気血流比不均等試験	城　宏史
11回　血液学分析装置について	城　宏史
12回　血液ガスの原理検体取り扱いについて	城　宏史
13回　血液ガス分析結果の解釈	城　宏史
14回　血液ガス分析の実際と判定基準及び解釈について	城　宏史
15回　エネルギー代謝と呼気ガス分析	城　宏史
16回　基礎代謝の概念と実際	城　宏史
17回　運動負荷試験	城　宏史
18回　睡眠時無呼吸検査について	城　宏史